

〔平成18年度設置〕

山口大学大学院医学系研究科応用分子生命科学系専攻
(博士前期課程・博士後期課程)

設置に係る年次計画履行状況報告書

国立大学法人 山口大学
平成18年5月1日現在

作成担当者

総務部企画課

課長 おかむら 岡村 ひでゆき 秀幸

電話番号 083-933-5076

(夜間) 同上

F A X 083-933-5959

目 次

1. 調査対象大学院等の概要等	1
2. 授業科目の概要	2
3. 施設・設備の整備状況, 経費	7
4. 既設大学等の状況	8
5. 研究科・専攻・課程別教員組織の状況	10
6. 留意事項に対する履行状況等	23
7. その他全般的事項	24

大学院等設置に係る年次計画履行状況報告書

1 調査対象大学院等の概要等

区 分	内 容							備 考
(1) 設 置 者	国 立 大 学 法 人 山 口 大 学							
(2) 大学院の名称	山 口 大 学 大 学 院							
(3) 大学本部の位置	山口県山口市吉田 1677 番地 1							
(4) 管理運営組織		認 可 時		変 更 状 況				学部長の任期満了に伴う変更⑧
	学 長	(カトウ ヒロシ) 加藤 紘 (平成 14 年 5 月 16 日)						
	研究科長	(イシハラ トクヒロ) 石原 得博 (平成 14 年 5 月 16 日)		(マエカワ タケシ) 前川 剛志 (平成 18 年 4 月 1 日)				
(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学状況等								
調 査 対 象 研 究 科 等 の 名 称 (学 位)	認 可 時 の 計 画			入 学 状 況 等				
	修業 年限	入 学 定 員	収 容 定 員	区 分	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平 均 入 学 定 員 超 過 率
医学系研究科 応用分子生命科学系専攻(博士前期課程) 修士(生命科学) 又は 修士(学術)	2	30	60	A 入学定員	30			2.1 倍
				受験者数	(1) 68			
				合格者数	(1) 65			
				B 入学者数	(1) 63			
				入学定員 超過率 B/A	2.1			
				収容定員	30			
在学者数	[1 年次] [0] 63 [計] 63	[1 年次] [2 年次] [計]	[1 年次] [2 年次] [計]					
医学系研究科 応用分子生命科学系専攻(博士後期課程) 博士(生命科学) 又は 博士(学術)	3	10	30	A 入学定員	10			1.5 倍
				受験者数	(1) 15			
				合格者数	(1) 15			
				B 入学者数	(1) 15			
				入学定員 超過率 B/A	1.5			
				収容定員	10			
在学者数	[1 年次] [0] 15 [計] 15	[1 年次] [2 年次] [計]	[1 年次] [2 年次] [3 年次] [計]					

2 授業科目の概要

<医学系研究科応用分子生命科学系専攻（博士前期課程）>

(1) 授業科目表

授業科目の名称		配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置				備考
			必修	選択	自由	教授	助教授	講師	助手	
[医学系研究科共通基礎科目群]										
	生命倫理学特論	1・2		1						
	医療情報倫理学特論	1・2		1						
	応用分子生命科学基礎科目Ⅰ(生命系)	1		1		★	★			
	応用分子生命科学基礎科目Ⅰ(化学系)	1		1		★	★			
	応用分子生命科学基礎科目Ⅰ(医学系)	1		1		★				
	応用分子生命科学基礎科目Ⅱ	1・2	2			★	★	★		
	応用分子生命科学基礎演習	1・2	2			★	★	★		
	応用分子生命科学基礎ゼミナール	1・2	4			★	★	★		
	臨床体験実習	1・2		2		★				
	短期インターンシップ	1・2		2		★	★	★		
分子機能生物学領域	分子細胞機能学特論	1・2		2		1				
	分子細胞機能学演習	1・2		2		★				
	分子生物化学特論	1・2		2			1			
	分子生物化学演習	1・2		2			★			
	分子生殖生物学特論	1・2		2		1				
	分子生殖生物学演習	1・2		2		★			1	
	分子細胞生理学特論	1・2		2		1				
	分子細胞生理学演習	1・2		2		★			1	
	分子発生学特論	1・2		2		1				
	分子発生学演習	1・2		2		★				
	細胞進化学特論	1・2		2						
微生物細胞機能学特論	1・2		2							
時間生物学特論	1・2		2							
生命物質化学領域	天然物有機化学特論	1・2		2		1				
	天然物有機化学演習	1・2		2		★				
	有機元素化学特論									
	生命有機金属化学特論	1・2		2			1			
	有機元素化学演習									
	生命有機金属化学演習	1・2		2			★			
	分子生命科学特論	1・2		2		1				
	分子生命科学演習	1・2		2		★				
	物性化学特論	1・2		2			1			
	物性化学演習	1・2		2			★			
	分析化学特論	1・2		2						
	応用分析化学特論	1・2		2						
	配位化学特論	1・2		2						
反応有機化学特論	1・2		2							
光化学特論	1・2		2							
界面電子化学特論	1・2		2							
有機金属反応化学特論	1・2		2							
先端分子医学応用	分子病理学特論Ⅰ	1・2		4		1		★		
	分子病理学演習Ⅰ	1・2		4		★		1	1	
	消化器病態内科学特論Ⅰ	1・2		4		1	1	1		
	消化器病態内科学演習Ⅰ	1・2		4		★	★	1	3	
	消化器・腫瘍外科学特論Ⅰ	1・2		4		1		2		
	消化器・腫瘍外科学演習Ⅰ	1・2		4		★		1	5	

授業内容をより明確にするために、名称変更（その他意見対応）⑩
 授業内容をより明確にするために、名称変更（その他意見対応）⑩

授業科目の名称		配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置				備考
			必修	選択	自由	教授	助教受	講師	助手	
生命分子工学領域	生命有機合成化学特論Ⅰ	1・2		2		1				専任助教授の昇任予定⑩ 平成18年8月専任教員採用等年次計画 変更書提出予定
	生命有機合成化学演習Ⅰ	1・2		2		★				
	生命有機反応化学特論Ⅰ	1・2		2		1				
	生命有機反応化学演習Ⅰ	1・2		2		★			1	
	高分子機能化学特論	1・2		2		1				
	高分子機能化学演習	1・2		2		★				
	バイオプロセス工学特論	1・2		2		1				
	バイオプロセス工学演習	1・2		2		★				
	生物反応工学特論	1・2		2			1			
	生物反応工学演習	1・2		2			★			
	バイオ分子機能工学特論	1・2		2		1	★			
	バイオ分子機能工学演習	1・2		2		★	★		1	
分子パターン認識特論Ⅰ	1・2		2		1					
分子パターン認識演習Ⅰ	1・2		2			1		1		
生物機能開発科学領域	遺伝子工学特論	1・2		2		1				
	遺伝子工学演習	1・2		2		★				
	分子細胞生化学特論Ⅰ	1・2		2		1				
	分子細胞生化学演習Ⅰ	1・2		2		★				
	応用生理学特論	1・2		2		1				
	応用生理学演習	1・2		2		★				
	植物代謝生理学特論Ⅰ	1・2		2		1				
	植物代謝生理学演習Ⅰ	1・2		2		★				
	応用微生物学特論	1・2		2			1			
	応用微生物学演習	1・2		2			★			
特別研究			6		★	★				
[理工学研究科共通基礎科目群]										
情報科学特論Ⅰ	1・2		1							
物理・地球科学特論	1・2		1							
化学・生物科学特論	1・2		1							
知的財産権特論	1・2		1							
ネットワーク情報倫理特論	1・2		1							

2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 4	科目 70	科目 0	科目 74	科目 4 [0]	科目 70 [0]	科目 0 [0]	科目 74 [0]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
	なし				

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
	なし				

(5) 授業科目を未開講，廃止としたことに係る大学の所見

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0$$

<医学系研究科応用分子生命科学系専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

授業科目の名称		配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置				備 考
			必修	選択	自由	教授	助教受	講師	助手	
応用分子生命科学展開科目		1・2・3	2			★		★		
応用分子生命科学展開ゼミナール		1・2・3	4			★	★	★		
最先端ライフサイエンス研究科目		1・2・3	2			★	★	★		
長期インターンシップ		1・2・3			2	★	★	★		
分子生物学領域	細胞動態学特論	1・2・3		2		1				
	細胞動態学演習	1・2・3		2		★				
	内分泌調節機構学特論	1・2・3		2			1			
	内分泌調節機構学演習	1・2・3		2			★			
	生殖機能科学特論	1・2・3		2		1				
	生殖機能科学演習	1・2・3		2		★			1	
	細胞分子機械学特論	1・2・3		2		1				
	細胞分子機械学演習	1・2・3		2		★			1	
	発生遺伝学特論	1・2・3		2		1				
	発生遺伝学演習	1・2・3		2		★				
生命物質化学領域	複素環化学特論	1・2・3		2		1				
	複素環化学演習	1・2・3		2		★				
	生体分子機能化学特論	1・2・3		2			1			
	生体分子機能化学演習	1・2・3		2			★			
	生命情報学特論	1・2・3		2		1				
	生命情報学演習	1・2・3		2		★				
	分子集合体特論	1・2・3		2			1			
	分子集合体演習	1・2・3		2			★			
先端分子生物学応用	分子病理学特論Ⅱ	1・2・3		2		1		★		
	分子病理学演習Ⅱ	1・2・3		2		★		1	1	
	消化器病態内科学特論Ⅱ	1・2・3		2		1	1	1		
	消化器病態内科学演習Ⅱ	1・2・3		2		★	★	1	3	
	消化器・腫瘍外科学特論Ⅱ	1・2・3		2		1		2		
	消化器・腫瘍外科学演習Ⅱ	1・2・3		2		★		1	5	
生命分子工学領域	生命有機合成化学特論Ⅱ	1・2・3		2		1				
	生命有機合成化学演習Ⅱ	1・2・3		2		★				
	生命有機反応化学特論Ⅱ	1・2・3		2		1				
	生命有機反応化学演習Ⅱ	1・2・3		2		★			1	
	機能高分子材料科学特論	1・2・3		2		1				
	機能高分子材料科学演習	1・2・3		2		★				
	バイオプロセス設計工学特論	1・2・3		2		1				
	バイオプロセス設計工学演習	1・2・3		2		★				
	生体触媒反応工学特論	1・2・3		2			1			
	生体触媒反応工学演習	1・2・3		2			★			
	ゲノム生物工学特論	1・2・3		2		1	★			
	ゲノム生物工学演習	1・2・3		2		★	★		1	
分子パターン認識特論Ⅱ	1・2・3		2		1					
分子パターン認識演習Ⅱ	1・2・3		2			1		1		
生物機能開科学領域	微生物分子生物学特論	1・2・3		2		1				
	微生物分子生物学演習	1・2・3		2		★				
	分子細胞生化学特論Ⅱ	1・2・3		2		1				
	分子細胞生化学演習Ⅱ	1・2・3		2		★				
	運動生理学特論	1・2・3		2		1				
	運動生理学演習	1・2・3		2		★				
	植物代謝生理学特論Ⅱ	1・2・3		2		1				
	植物代謝生理学演習Ⅱ	1・2・3		2		★				
	酵素化学特論	1・2・3		2			1			
	酵素化学演習	1・2・3		2			★			
応用分子生命科学展開合同演習	1・2・3	2			★	★	★			

専任助教授の昇任予定⑩
平成18年8月専任教員採用等年次計画
変更書提出予定

2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 4	科目 48	科目 1	科目 53	科目 4 [0]	科目 48 [0]	科目 1 [0]	科目 53 [0]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
	なし				

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
	なし				

(5) 授業科目を未開講，廃止としたことに係る大学の所見

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0$$

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	専 用	共 用	共用する他の学 校等の専用等	計	大学全体			
	m ² 569,965 (0)	m ² 0 (0)	m ² 0 (0)	m ² 569,965 (0)				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学 校等の専用等	計	大学全体			
	m ² 255,104	m ² 0 (0)	m ² 0 (0)	m ² 255,104 (0)				
(3) 講 義 室 教 室 等	演 習 室	実 験 実 習 室	情報処理学習施設	語 学 学 習 施 設				
	10 室	5 室	1 室 (補助職員 0人)	0 室 (補助職員 0人)				
(4) 専 任 教 員 研 究 室	調 査 対 象 学 部 等 の 名 称		室 数					
	医学系研究科応用分子生命科学系専攻		32 室					
(5) 図 書 ・ 設 備								
調査対象学部 等の名称	図書 [外国書] 冊	学術雑誌[外国書] 種	視 聴 覚 資 料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	大学全体 1,594,623 冊 学術雑誌 30,468 冊		
	183,129 [89,919] (183,129 [89,919])	4,435 [2,307] (4,435 [2,307])	(303 303)	(4 4)	(0 0)			
計	183,129 [89,919] (183,129 [89,919])	4,435 [2,307] (4,435 [2,307])	(303 303)	(4 4)	(0 0)			
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	13,062 m ²		1,274 席	1,152,130 冊				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要			大学全体		
	7,109 m ²		陸上競技場 1面 ラグビー場 1面 サッカー場 1面	野球場 1面 テニスコート 16面 プール 1面				
(8) 経費の見積り 方法及び維持 方法の概要	経費の 見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設年度	完成年度	国費により措置
		教員1人当りの研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
千円		千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要								

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称	山 口 大 学							備 考
	既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	定 員 超過率	学位又 は称号	
人文科学研究科 地域文化専攻 言語文化専攻	2 2	4 4		8 8	2.12 2.87 1.37	修士(文学) 修士(文学)	昭和60年	山口県山口市吉田 1677 番地 1
計		8		16				
教育学研究科 学校教育専攻 教科教育専攻	2 2	9 32		18 64	1.04 1.88 0.81	修士(教育学) 修士(教育学)	平成3年	山口県山口市吉田 1677 番地 1
計		41		82				
経済学研究科 経済学専攻 企業経営専攻	2 2	16 10		32 20	1.05 0.87 1.35	修士(経済学) 修士(経済学)	昭和50年 平成7年	山口県山口市吉田 1677 番地 1
計		26		52				
医学系研究科 (医学博士課程) システム統御医学系専攻 情報解析医学系専攻	4 4	17 18		17 18	0.60 0.41 0.77	博士(医学) 博士(医学)	平成18年 平成18年	山口県宇部市南小串1丁目1番1号
計		35		35				
(博士前期課程) 応用医工学系専攻 応用分子生命科学系専攻	2 2	34 30		71 30	1.12 0.81 2.10	修士(医工学) 修士(生命科学, 学術)	平成13年 平成18年	
計		64		101				
(博士後期課程) 応用医工学系専攻 応用分子生命科学系専攻	3 3	14 10		46 10	0.83 0.85 0.90	修士(医工学) 博士(生命科学, 学術)	平成13年 平成18年	
計		24		56				
(修士課程) 保健学専攻	2	12		24	1.33	修士(保健学)	平成17年	
計		12		24				
理工学研究科 (博士前期課程) 数理科学専攻 物理・情報科学専攻 地球科学専攻 機械工学専攻 社会建設工学専攻 物質化学専攻 電子デバイス工学専攻 電子情報システム工学専攻 感性デザイン工学専攻 環境共生系専攻	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	16 20 12 36 36 36 42 38 30 50		30 20 12 69 66 36 42 38 54 50	1.12 0.98 1.15 1.58 1.26 0.99 1.19 0.80 1.36 0.95 1.04	修士(理学) 修士(理学) 修士(理学) 修士(工学) 修士(工学) 修士(工学) 修士(工学) 修士(工学) 修士(工学) 修士(工学) 修士(工学, 理学)	昭和57年 平成18年 平成18年 昭和41年 平成9年 平成18年 平成18年 平成18年 平成12年 平成18年	山口県山口市吉田 1677 番地 1 山口県宇部市常盤台2丁目 16 番 1 号
計		316		417				
(博士後期課程) 自然科学基盤系専攻	3	7		7	0.83 0.85	博士(理学, 工学, 学術)	平成18年	山口県山口市吉田 1677 番地 1
システム設計工学系専攻 物質工学系専攻 情報・デザイン工学系専攻 環境共生系専攻	3 3 3 3	9 8 9 10		9 8 9 10	1.11 0.87 0.55 0.80	博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学, 理学, 学術)	平成18年 平成18年 平成18年 平成18年	山口県宇部市常盤台2丁目 16 番 1 号
計		43		43				
農学研究科 生物資源科学専攻 (鳥取大学大学院連合農学研究科に参加)	2	34		68	0.96	修士(農学)	平成7年	山口県山口市吉田 1677 番地 1
計		34		68				

東アジア研究科 東アジア専攻	3	10	30	1.26	博士(学術)	平成13年	山口県山口市吉田1677番地1
計		10	30				
技術経営研究科 技術経営専攻	2	15	30	1.19	技術経営修 士(専門職)	平成17年	
計		15	30				
連合獣医学研究科 獣医学専攻	4	12	48	1.89	博士(獣医学)	平成2年	山口大学 山口県山口市吉田1677番地1 鳥取大学 鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101 宮崎大学 宮崎県宮崎市学園木花台西1丁 目1番地 鹿児島大学 鹿児島県鹿児島市郡元1丁目 21番24号
計		12	48				
合計		640	1,002				
人文学部 人文社会学科	4	95	380	1.06	学士(文学)	平成5年	山口県山口市吉田1677番地1
言語文化学科	4	90	360	1.05	学士(文学)	平成5年	
計		185	740				
教育学部 学校教育教員養成課程	4	100	400	1.10	学士(教育学)	平成10年	山口県山口市吉田1677番地1
実践臨床教育課程	4	20	80	1.16	学士(教育学)	平成10年	
情報科学教育課程	4	40	160	1.04	学士(教育学)	平成10年	
健康科学教育課程	4	40	160	1.06	学士(教育学)	平成10年	
総合文化教育課程	4	40	160	1.06	学士(教育学)	平成元年	
計		240	960				
経済学部 経済学科	4	90	390	1.05	学士(経済学)	昭和24年	山口県山口市吉田1677番地1
経営学科	4	130	520		学士(経済学)	昭和24年	
国際経済学科	4	55	230		学士(経済学)	昭和52年	
経済法学科	4	70	290		学士(法学)	昭和55年	
観光政策学科	4	30	60		学士(経済学)	平成17年	
商業教員養成課程	4	10	50		学士(経済学)	昭和29年	
計		385	1,540				
理学部 数理学科	4	50	200	1.10	学士(理学)	平成7年	山口県山口市吉田1677番地1
物理・情報科学科	4	60	60	1.11	学士(理学)	平成18年	
生物・化学科	4	80	80	0.98	学士(理学)	平成18年	
地球圏システム科学科	4	30	30	1.30	学士(理学)	平成18年	
計		220	370				
医学部 医学科	6	85	30	1.00	学士(医学)	昭和39年	山口県宇部市南小串1丁目1番 1号
保健学科	4	120	15	1.01	学士(看護 学・保健学)	平成12年	
計		205	25	1,060			
工学部 機械工学科	4	85	340	1.06	学士(工学)	平成3年	山口県宇部市常盤台2丁目16 番1号
応用化学工学科	4	90	360	1.03	学士(工学)	平成3年	
社会建設工学科	4	80	320	0.99	学士(工学)	平成3年	
電気電子工学科	4	80	320	1.07	学士(工学)	平成3年	
知能情報システム工学科	4	70	10	280	1.07	学士(工学)	平成3年
機能材料工学科	4	75	10	300	1.10	学士(工学)	平成3年
感性デザイン工学科	4	50	200	1.09	学士(工学)	平成8年	
計		530	20	2,160			
農学部 生物資源環境科学科	4	50	200	1.03	学士(農学)	平成13年	山口県山口市吉田1677番地1
生物機能科学科	4	50	200	1.02	学士(農学)	平成13年	
獣医学科	4	30	180	1.04	学士(獣医学)	昭和24年	
計		130	580				
合計		1,895	45	7,410			

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項についての実施計画
認 可 時 (17年12月5日)	特になし		

7 その他全般的事項

<医学系研究科応用分子生命科学系専攻>

(1) 設置計画変更事項 等

認 可 時 の 計 画	変 更 内 容 ・ 状 況 , 今 後 の 見 通 し な ど
特になし	

(2) 自己点検・評価等に関する事項

<p>A 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見 (別紙のとおり)</p> <p>B 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表(予定)時期 「全学的自己点検評価実施要領」により、平成 18 または 19 年度に評価を実施した後、結果を公表する予定。</p> <p>b 公表方法 ホームページ上に公開予定</p> <p>C 認証評価を受ける計画 ・平成 19 または 20 年度に大学評価・学位授与機構の評価を受けるべく、学内で検討中である。</p>

A 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

山口大学大学院医学系研究科応用分子生命科学系専攻は平成18年4月に開設し、医学・工学・理学・農学にまたがる学際的な教育研究を開始した。開設前から関連分野の学生の関心は非常に高く、様々な分野から入学希望者が殺到した。結果として入学定員を超過してしまったが、教育研究内容について高い評価を受けていると言える。定員超過に関しては、学生の指導・研究に支障が出ないように、また各教員に過度の負担とならないよう十分配慮していく。

本専攻は医・工・理・農の連携のもと、バイオインフォマティクスを応用した分子レベルの病態解析や生命機能解析と、化学合成及び先端バイオ技術を基盤にして、医療・健康に利用できる有用分子の研究開発や臨床応用に貢献する、創造的で幅広い視野を持った人材を育成することを目的としている。今回様々な分野からの入学生を迎えたことで、この目的を達成する下地は整ったと言える。また、理学系や工学系の学部学生から医学系の教員に講義の履修希望等の問い合わせも相次いでおり、大学院教育のみならず、学部レベルでの教育研究にも大いに刺激を与えている。本専攻の設置を通じて各領域・分野の学生や教員の積極的な交流・連携が促進され、山口大学全体の活性化に繋がるのが期待される。

本専攻の教育研究の核となるトランスレーショナル・リサーチについても、医学系研究科の他の専攻及び医学部附属病院との連携体制を活かし、学生に対して十分な教育研究を行う体制は整っている。本専攻の特色の一つである「臨床体験実習」の授業科目については、学生のみならず教員からの参加希望も殺到しており、医療の現場に対する関心の高さが伺える。学生・教員とも、臨床現場への理解が進むことにより、本専攻の推進するトランスレーショナル教育の教育効果がより高まると考えられる。

本専攻は開設したばかりではあるが、非常に順調に教育活動を開始することが出来た。今後は、各授業科目において教育内容の充実を図り、より充実した教育課程を学生に提供できるよう検討を行う予定である。また、現在バーチャルメディカル教育システムの整備を進めており、生命科学分野の研究成果を臨床応用という具体的な形で社会に還元できる人材の育成という設置趣旨の実現に向けて、今後も努力・検討を重ねていく。